

# オホーツク農業の展開とグリーン・ツーリズムの役割

網走地域を対象にして

## 【目次】

序章 - 問題意識と課題の指定 -	第 1 章 網走地域農業の転機とグリーン・ツーリズム
第 1 章 グリーン・ツーリズム登場の背景	第 1 節 農業をめぐる情勢の変化
第 1 節 日本農業の変貌と農業生産の後退	第 2 節 網走地域の農業生産と主要作物
第 2 節 都市勤労消費者の生活構造の変化	第 3 節 農村の持つ機能を生かす改善策
第 3 節 国際貿易交渉と国内政策の基調変化	第 2 章 網走地域におけるグリーン・ツーリズムの事例
日本経済・産業再編と規制緩和	第 1 節 農家民宿の展開と特徴
第 2 章 グリーン・ツーリズムの展開とネットワークづくり	第 2 節 地元農産物の直売所及び加工所
第 1 節 西欧諸国のグリーン・ツーリズム	第 3 節 網走地域のグリーン・ツーリズムの定着に向けて
第 2 節 日本のグリーン・ツーリズム	終章 総括と展望
第 3 節 地域経営型グリーン・ツーリズムとネットワークづくり	

## 【目的】

網走地域農業は、農産物価格政策の撤廃や大規模農業経営、農産物輸入の増加等を背景に、暗い影を落とし始めている。また、網走の観光問題として、滞在型ではなく通過型観光が問題となっている。このような問題を解決する施策の一つにグリーン・ツーリズムがあげられる。グリーン・ツーリズムのサービスの主体は、農家などその地域に住んでいる人々によるもので、訪れた人々に体験や交流を通して地域の魅力をどう伝えていくのか、網走地域の問題点を明らかにし、それをどのように改善して地域を発展させていくのか分析を行った。

## 【方法】

関連文献・各統計調査を収集・分析し、網走地域で実際にグリーン・ツーリズムを行っているところをヒアリング調査し、実態分析を行った。

## 【結論】

ファームイン、農産物直売所及び加工所を調査した結果、全ての場所が独自に展開し、こだわりを持って経営をしていることが実証された。それは決して利益だけを目的としたものではなく、住んでいる地域の良さを認識し、自分たちの手でその資源をいかしながら経営を行っているところに大きな価値があった。問題点として第 1 に、都市住民並びに地域住民のグリーン・ツーリズムに対する認知度が低いこと、第 2 に、網走地域全体での取組みがまだ確立されていないことが指摘された。グリーン・ツーリズムを推進するにあたっては、地域で協力し取組む必要があり、地域住民、地域資源をそのまま活かす内発的な動きが必要である。だからこそ、網走地域の独自の良さを都市住民に理解してもらい、体験や交流によって一日を網走で楽しんでもらうためにも「どこにいけばどんな体験ができる」といった、グリーン・ツーリズムの宣伝をする住民の共通認識と理解が必要不可欠であった。網走地域は他の地域に負けない産業・農業・歴史といった魅力がある。その魅力をどう活用し、また、経営を行うにあたって自治体が協力・支援をして他の地域に負けない展開をどのように進めていくか、地域全体の問題としての課題が残されている。

## 【参考文献】

- 江口信清編著『総合的減少としての観光』(株)晃洋書房 2005年  
井上和衛 中村攻 宮崎猛 山崎光博著『地域経営型 グリーン・ツーリズム』都市文化社 1999年  
21 ふるさと京都塾編『人と地域をいかすグリーン・ツーリズム』(株)学芸出版 1998年